



協会ニュース

2022.7 vol.69

編集・発行 三重県医療ソーシャルワーカー協会
ホームページ <http://www.mie-msw.com/>
事務局 小山田記念温泉病院
〒512-1111 四日市市山田町5538-1
☎059(328)1260

目次

- ◇2022年度 三重県医療ソーシャルワーカー協会総会オンライン決議報告
- ◇研修報告
- ◇新人紹介
- ◇病院紹介
- ◇次回研修案内
- ◇編集後記

2022年度三重県医療ソーシャルワーカー協会 総会・オンライン決議結果報告

昨年度に引き続き、Zoomによるオンライン総会を開催しました。総会時点での全会員数189名のうち、過半数にあたる141名(Web参加:73名 委任状:68名)の参加があったため本会は成立しました。

- 【第1号議案】 2021年度事業報告及び収支決算報告
- 【第2号議案】 2022年度事業計画及び予算案報告
- 【第3号議案】 役員改選

⇒上記すべての議案について可決されました。

役職	氏名	所属機関	担当
会長	高村 純子	国立病院機構 三重病院	
副会長	鈴木 志保子	三重大学医学部附属病院	研修
副会長	川口 恵生	小山田記念温泉病院	事務局
理事	落合 幸太郎	藤田医科大学 七栗記念病院	研修
理事	落合 信也	松阪市民病院	研修
理事	勝又 広志	寺田病院	研修
理事	久保 信裕	鈴鹿回生病院	研修
理事	小坂 絵里加	三重大学医学部附属病院	広報
理事	柴原 亜由美	志摩市民病院	研修
理事	兵倉 香織	市立四日市病院	広報
理事	松田 美穂	岡波総合病院	広報
理事	脇海道 友美	伊勢赤十字老人保健施設 虹の苑	研修
監事	森川 幸雄	三重県医療ソーシャルワーカー協会元副会長	
監事	吉川 晴子	いしが在宅ケアクリニック	
相談役	伊藤 隆博	岩手県立大学	

新任会長・理事役員ご挨拶

会長

国立病院機構 三重病院



たかわら じゅんこ
高村 純子

このたび、会長職を拝命いたしました。長年、当協会をけん引頂いた山田前会長の後を担う重責に、身の引き締まる思いであります。どうぞよろしくお願いいたします。さて、これから皆様と共にめざしたい協会像を申し上げます。

①メッキではない本物のソーシャルワーク力をつける
協会員は約180名、経験も所属も多様で、その組織での立場や業務・期待も大きく異なり、MSWとしてのキャリア構築は個人に委ねられている現状があります。当協会では自施設で経験できない貴重な実践の共有を図り、ソーシャルワークの価値を確認できる場を提供していきたいと思っております。

②SOSが出せる環境づくり

コロナ禍で顔のみえる多機関連携がしづらくなりもしましたが、新たなフェーズに向け1人で、また1つの病院だけで抱えず「手伝って」「助けて」と言える環境・仲間づくりを目指します。

③ソーシャルワーク力のアップデート

今の社会福祉士養成のカリキュラムは、創設期とは大きく変わり、新たな分野や捉え方が取り込まれています。当協会では、皆様の学びたい課題・アイデアを元に、コロナ禍で得たオンライン環境も柔軟に使いつつ、これからの時代に対応できる情報提供・研修企画を行います。一番小さな手のひらの上にもソーシャルワークを届けられるように、共に新たな時代を創り上げていきましょう。



すずき しほこ
鈴木 志保子

副会長 三重大学医学部附属病院

引き続き副会長を務めさせていただきます。高村会長を微力ながら支えていけるように頑張ります！研修担当をしておりますので、学びたい内容や要望がございましたら、是非教えていただけたらと思います。



かわくち やすなり
川口 恵生

副会長 小山田記念温泉病院

この度、副会長を拝命しました。2008年(28歳時)理事就任からいつの間にか経験・容姿共ベテラン組になってきましたが、高村会長のもと「若手目線」と「髪の毛が後退しているのではない。私が前進しているのである」の精神で頑張ります！



おちあい こうたろう
落合 幸太郎

理事 藤田医科大学七栗記念病院

皆様こんにちは。今期3期目となります。基幹研修の運営を中心に担当します。心だけは若手のつもりですので、研修では若手の皆様に楽しんで頂けるよう尽力致します。若輩者ですが、何卒宜しくお願い致します。



おちあい しんや
落合 伸也

理事 松阪市民病院

今期で理事2期目となります。前期に引き続き、協会内では研修担当をしております。協会の運営に少しでも貢献できるようにと考えております。よろしくお願いたします。



理事
勝又 広志
かつまた ひろし

医療法人社団 寺田病院

まだまだ経験が足りない頭に卵の殻が載っているような未熟なおじさんですがこの機会を通じて、少しでもすごいMSWに近づけるようながんばっていただきたいと思います。皆様にはご迷惑おかけしますがよろしく願います。



理事
久保 信裕
くぼ のぶひろ

鈴鹿厚生病院

リモートでの研修も、日常の一部にはなってきましたが、なかなか今までのように、人と人の温度を感じるような繋がりを得ることは難しいですね。特に若い世代のワーカーさんにとって、ただ学ぶだけの研修ではなく、次につながるような繋がりを感じられる研修が出来るように工夫していきたいです。



理事
柴原 亜由美
しばはら あゆみ

志摩市民病院

このたび新しく理事に就任しました志摩市民病院の柴原です。普段の業務の中でネットワークが大切だと日々感じております。少しでも皆さんとの繋がりができるように頑張りたいと思います。どうぞよろしく願います。



理事
脇井 友美
わきかい ゆみ

伊勢赤十字老人保健施設 虹の苑

少ない時間でも大きな成果をモットーに！そんな魅力ある三重県医療ソーシャルワーカー協会を、会員みんなで作っていただけるよう、少しでもお手伝いできればと思っています。どうぞよろしく願います！！



理事
小坂 絵里加
こさか えりか

三重大学医学部附属病院

理事に就任して7年目に突入しました。ここまで続けてこられたのは、同僚や他の機関・職種の方々、協会の皆さん等周りで支えてくれる人たちのおかげだと常々思っています。今後もまだまだ成長していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します☆



理事
兵倉 香織
ひょうくら かおり

市立四日市病院

気づけば、協会運営に携わり6期目。研修や皆様との交流を通し、専門職として成長することができました。SWは職場では少数ですが、県内には多くのSWがいます。会員同士が力を合わせ、活発な協会になるよう努めていきたいと思っております。



理事
松田 美穂
まつた みほ

岡波総合病院

今回で理事4期目になります。協会の運営に携わるようになり、様々な気づきや学びがたくさんありました。普段は広報を担当し、協会ニュースの作成に携わせて頂き、編集後記にはそのとき感じたことをつれづれなるままに原案を書かせて頂いております。協会の皆さんと想いを共有し、何か感じて頂ければ嬉しいです。今期もよろしく願います。



相談役
伊藤 隆博
いとう たかひろ

岩手県立大学社会福祉学部

皆さん、日々倫理綱領に基づいた実践されていると思います。そして社会福祉士の倫理綱領には、「専門職としての倫理責任」として自身の専門性の向上に努めることが挙げられていることも既にご承知のことかと思っております。協会では皆さんが倫理綱領や行動基準に規定された「自己研鑽」ができるよう、充実した研修を企画しています。私は当協会では相談役という立場で協会運営に助言するなどお手伝いさせていただきます。会員の皆さんもぜひ積極的に研修などにご参加ください。

研修報告

※すべてZoomを利用したのオンライン研修（オンデマンド配信あり）

17.【医療における「家族の理解」】

※専門基礎研修との共催

日時:2022年1月15日(土) 9:30~12:30
講師:松原新氏(鈴鹿医療科学大学教授)
参加者:49名

18.【支援方法論/①アセスメント、②マイクロ・メソ(自己理解、他者理解、コミュニケーション力、面接技術)】

日時:2022年1月29日(土)
①10:00~11:30 ②12:30~16:00
講師:伊藤隆博氏(岩手県立大学現准教授)
参加者:①25名 ②21名

実践報告会

日時:2月13日(日) 10:00~12:00
講師:長戸美知枝氏(市立四日市病院)
程川淳司氏(大同病院)

演者:

- ①木佐貴惇氏(三重大学医学部附属病院)
「キーパーソンが不在で意識障害のある患者への支援」
- ②塚越沙弥子氏(鈴鹿中央総合病院)
「身寄りのないTさんとの関わりの中で学んだこと」
- ③山本小百合氏、松田崇志氏(岡波総合病院)
「MSW1年生と20年生の奮闘記~ひとつの事例を通して~」
- ④井上由比氏、長戸美知枝氏、兵倉香織氏(市立四日市病院)
「退院時カンファレンスの理解を深める~課内学習会の過程と効果~」
- ⑤数下茂樹氏(鈴鹿中央総合病院)
「退院調整看護師との協同~鈴鹿中央総合病院の取り組み~」

参加者:49名

令和3年度外国人患者対応支援セミナー

(三重県国際交流財団主催 当協会共催)

- 第1回 基礎編 8月28日(土)9:30~12:30
「外国人患者への対応方法と留意点」
※実践編は選択制
 - 第2回 実践編 10月23日(土)9:30~12:30
「医療現場に役立つやさしい日本語」
 - 第3回 実践編 11月20日(土)9:30~12:30
「未収金発生防止及び医療費の回収方法 ケーススタディ」
 - 第4回 実践編 1月29日(土)9:30~12:30
「訪日外国人患者の救急医療 事例紹介とケーススタディ」
 - 第5回 実践編 2月26日(土)9:30~12:30
「医療通訳を活用した外国人患者対応の実践~対面通訳及び遠隔通訳(電話通訳)の体験」
- 参加者:65名

新加入会員紹介

今年度に新入会されました方のご紹介です。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。



大西 和彦
おおし かずひこ

三重大学医学部附属病院

はい！みなさん！初めまして！4月に入職いたしました大西と申します！今までは、福祉施設で介護職員や介護支援専門員として働いていました。MSWとして働くのは初めてで、日々勉強の毎日ですが、先輩方の有難いご指導の下、日々、成長していければと考えています！よろしくお願いいたします！



澤田 ゆりこ
さわだ ゆりこ

三重大学医学部附属病院

4月より新卒で精神保健福祉士として入職しました。患者様が安心して地域で生活できるよう寄り添い、信頼・安心できるような関係がつけられるようになりたいと思っています。社会人としても精神保健福祉士としても1年目で至らぬ点もありますが、ご指導の程よろしくお願いいたします。



山本 束華
やまもと つかけ

三重大学医学部附属病院

4月から新規で三重大学病院へ入職しました。学生の頃より目標としていたソーシャルワーカーという職種に就き、責任の大きさを実感しています。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



安藤 恵里那
あんどう えりな

独立行政法人
国立病院機構 三重病院

ケアマネ、生活相談員等を経て今年5月より入職しました。患者様に安心して来訪していただける、頼れるMSWになりたいです。目の前のことを一つ一つ、自分の糧にして積み重ねて行きたいと思っています。ご指導よろしくお願いいたします。



福岡 涼
ふくおか りょう

みたき総合病院

4月より新卒で入職しました。研修ではMSWに必要な知識や技術を学んでいきたいと思っております。至らぬ点が多く、皆様にご迷惑をおかけするかもしれませんが、精一杯頑張りますので宜しくお願いいたします。



伊藤 行輝
いとう こうき

みたき総合病院

今年5月から入職いたしました。前職では桑名市の老人保健施設で支援相談員をしていました。まだまだ至らぬところばかりではありますが、信頼されるMSWになれるよう日々精進していきたいと思っています。今後とも何卒よろしくお願いいたします。



細田 梨乃
ほそだ りの

富田浜病院

4月より新卒で入職いたしました。MSWとしても社会人としても未熟ですが、やさしく明るい先輩方にいろいろと教わりながら楽しく働いています。精一杯努めますので、よろしくお願いいたします。



田村 博美
たむら ひろみ

富田浜病院

4月に老健相談員から異動になりました。医療用語が飛び交い、スピードも違う世界で戸惑う毎日です。一日も早く先輩方のように、颯爽と様々な支援ができるよう学んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



高山 智帆
たかやま ちほ

済生会明和病院

4月より新卒で入職しました。患者様に安心していただけるような援助技術を身に付けていきたいです。ご迷惑をおかけすると思いますが一生懸命頑張りますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。



北森 由香
きたもり ゆか

寺田病院

今年の4月から医療ソーシャルワーカーとして勤務しています。以前はデイサービスで介護をしていたため、また違った内容・環境での仕事となり、新たに学ぶことも多く、勉強の毎日ですが、頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



病院紹介《ヨナ八丘の上病院》

第11回目は、ヨナ八丘の上病院からの報告です。

令和3年11月1日にヨナ八総合病院とヨナ八産婦人科小児科病院を統合し、桑名インター近くの高台に「ヨナ八丘の上病院」が開院しました。

「この地でお生まれになられてから人生を全うするその日まで」を一貫して支える“人生の地域総合支援を実践する病院”を目指しております。

・安心してお産をして頂けるようやさしく「つつみ」ます。

※周産期・新生児、女性病棟周産期医療、産婦人科、小児科

・医療と生活を不断に「つなぎ」ます。

※急性期病棟、回復期病棟、救急医療機能(第二次救急医療機関)、リハビリテーション医療、内科、総合診療科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、麻酔科

・幸せな人生を全うするためにしっかりと「ささえます」

※慢性期・地域包括ケア病棟、透析、在宅訪問診療
このように、「つつむ つなぐ ささえる」をスローガンとして掲げております。

なぜ移転が必要だったか？

理由は主に2つ有り、1つ目は建物が老朽化し、手狭になったことです。当法人が、今後さらに機能を高め、地域を支えていくためには、より機能的な新しい建物が不可欠です。2つ目は、災害対策の問題です。大規模災害が発生した際でも、病院は地域の皆さんのライフラインとして機能し続けなければなりません。元々2病院があったのは海拔1m以下の場所でした。これでは、いざという時に病院機能が麻痺してしまうため、より高い場所に移転する必要がありました。

当法人は、昭和50年に現理事長の与那覇尚先生が「ヨナ八産婦人科病院」を開設されたところから始まりまし。常に地域に必要な医療を見つめ、現在の姿まで成長してきました。現在、「ヨナ八丘の上病院」「ヨナハレディースクリニック」「ヨナハ健診クリニック」「ヨナハ介護老人保健施設」「湯の山老人保健施設」「ヨナ八在宅ケアセンター星見ヶ丘」「桑名市南部地域包括支援センター」が同法人となっております。

令和4年7月1日より急性期病棟・地域包括ケア病床の増床を予定しております。急性期病棟35床⇒53床。包括ケア病床18床⇒22床。今後、段階的に療養病床を減床し包括ケア病床を増床していく予定となっております。地域住民の皆さま、連携病院のニーズに応えられるよう、掲げたスローガンを元に職員一同、努力していきたいと思っております。
(文 谷川洋介)



▶▶次回は、寺田病院からの報告を予定しています。お楽しみに。

今後の研修案内



<基幹研修 I 初任者向け研修 8月9月の予定>

- 8月2日(火) 18:00~19:40
『支援方法論 チーム医療と地域連携』
- 8月22日(火) 18:00~19:40
『医学知識 脳卒中と連携パス』※専門基礎研修の共催
- 8月30日(火) 18:00~19:40
『医療ソーシャルワークと記録』
- 9月10日(土) 9:30~12:30
『医療における「家族の理解」』
- 9月20日(火) 18:00~19:40
『医療知識 糖尿病』

<スキルアップ研修・専門基礎研修>

- 8月6日(土)
『MSWと経営アウトカム』
- 8月22日(月)
『医学知識 脳卒中と連携パス』
- 9月3日(土)
『ファシリテーションスキル』

すべてZOOMでのオンライン研修になります。
詳細については協会から届くご案内を参照してください。
ご参加お待ちしております。ZOOMでの研修の受講方法が分からない方はお気軽に協会事務局へお問い合わせ下さい。

編集後記

気がつけば職場内で先輩より後輩の方が多くなってきました。今まで良い時も悪い時も一緒に仕事をしてきた同年代の同僚たちとも目がしょぼしょぼするのだ、疲れが取れにくいのだ、いわゆる加齢現象の話題もできるように。寂しい気持ちになると思いきや、みんなで年月重ねてきたと思うとなんだかとても愛しい気持ちになりました。年を重ねる醍醐味ってこうゆうところにあるのかもしれない。こんな気持ちになれるのも頑張ってきた自分へのご褒美のような気がします。明日も明後日もまだまだ先は続きます。大変なこともたくさん待ってるでしょう。ままたまらない日常もきつときつと愛しい月日になると信じて、毎日を、そして仲間を大切に。今日も頑張りましょう。

担当:兵倉・小坂・松田